

3. 事前調査結果

3. 事前調査結果

3.1 水象

(1) 水象の概況

1) 河川・湖沼等の概要

水象の状況は、表3.1-1～2及び図3.1-1に示すとおりである。

計画地の北側には、鳴瀬川水系の一级河川竹林川及び宮床川が流れている。また、南側には、七北田川水系の二级河川七北田川が西から東の方向に流れている。

計画地周辺には、明通第1調整池や明通第2調整池といった溜池が点在している。

表3.1-1 調査範囲の河川一覧

No.	種別	河川名	総延長(m)
1	一级河川	竹林川	9,300
2		明通川	510
3		小野川	1,200
4		宮床川	9,500
5		西川	9,526
6		長柴川	610
7		板坂川	2,460
8	二级河川	七北田川	40,899
9		要害川	6,000
10		仙台川	4,300
11		高柳川	3,000
12		萱場川	3,300
13		八乙女川	2,700
14	準用河川	穀田川	2,700
15		小野川	800
16		八沢川	950
17		前ヶ沢川	510

出典:「宮城県河川・海岸図」(平成25年3月 宮城県土木部河川課)

表3.1-2 調査範囲の主な湖沼

No.	名称	所在地	No.	名称	所在地
1	銅谷溜池	根白石字青笹山30外2筆	21	桂島上の堤溜池	—
2	畑沢溜池	加茂3丁目34	22	大倉溜池	—
3	杉原上溜池	根白石字杉原上7	23	丸田沢溜池	—
4	油房堤下溜池	根白石字油房堤下6	24	長命ヶ丘調整池	—
5	青笹山溜池	根白石字青笹山17	25	長命第1号溜池	—
6	石倉山溜池2	根白石字石倉山4	26	真美沢溜池	—
7	荒砥沢溜池	根白石字荒砥沢	27	北高森調整池	—
8	トドヶ沢1号溜池	上谷刈字長命岫	28	中山1号調整池	—
9	トドヶ沢1号溜池	上谷刈字小梨沢	29	加茂第1号調整池	—
10	大堤溜池	高森6丁目	30	トドヶ沢3号溜池	—
11	元道堤溜池	七北田字大沢日焼	31	明石南一丁目調整池	—
12	西ノ堤溜池	七北田字道	32	中山3号調整池	—
13	将監溜池	将監8丁目	33	中山4号調整池	—
14	八沢川調整池	—	34	紫山一丁目調整池	—
15	坊主山溜池	—	35	明通第1調整池	—
16	明神堤溜池	—	36	明通第2調整池	—
17	長兵衛堤調整溜池	—	37	明通第3調整池	—
18	高森溜池	—	38	宮床ダム	—
19	七ツ沼溜池	—	39	不詳	—
20	桂島下の堤溜池	—			

出典:「平成21年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成22年3月 仙台市)

注) 表中のNo. は図3.1.2-4の番号に対応する。

2) 湧水等の概要

調査範囲に湧水は、存在しない。

仙台市における飲用井戸の設置数は、表3.1-3に示すとおりである。仙台市全体では、5,325箇所の飲用井戸が設置されており、そのうち計画地の位置する泉区では346箇所あり、市全体の約6.5%である。

表3.1-3 仙台市における飲用井戸の設置数

区	飲用井戸数(箇所)
仙台市	5,325
青葉区	1,035
宮城野区	41
若林区	2,087
太白区	1,816
泉区	346

出典:「飲用井戸水等調査報告書」(平成13年3月 仙台市)

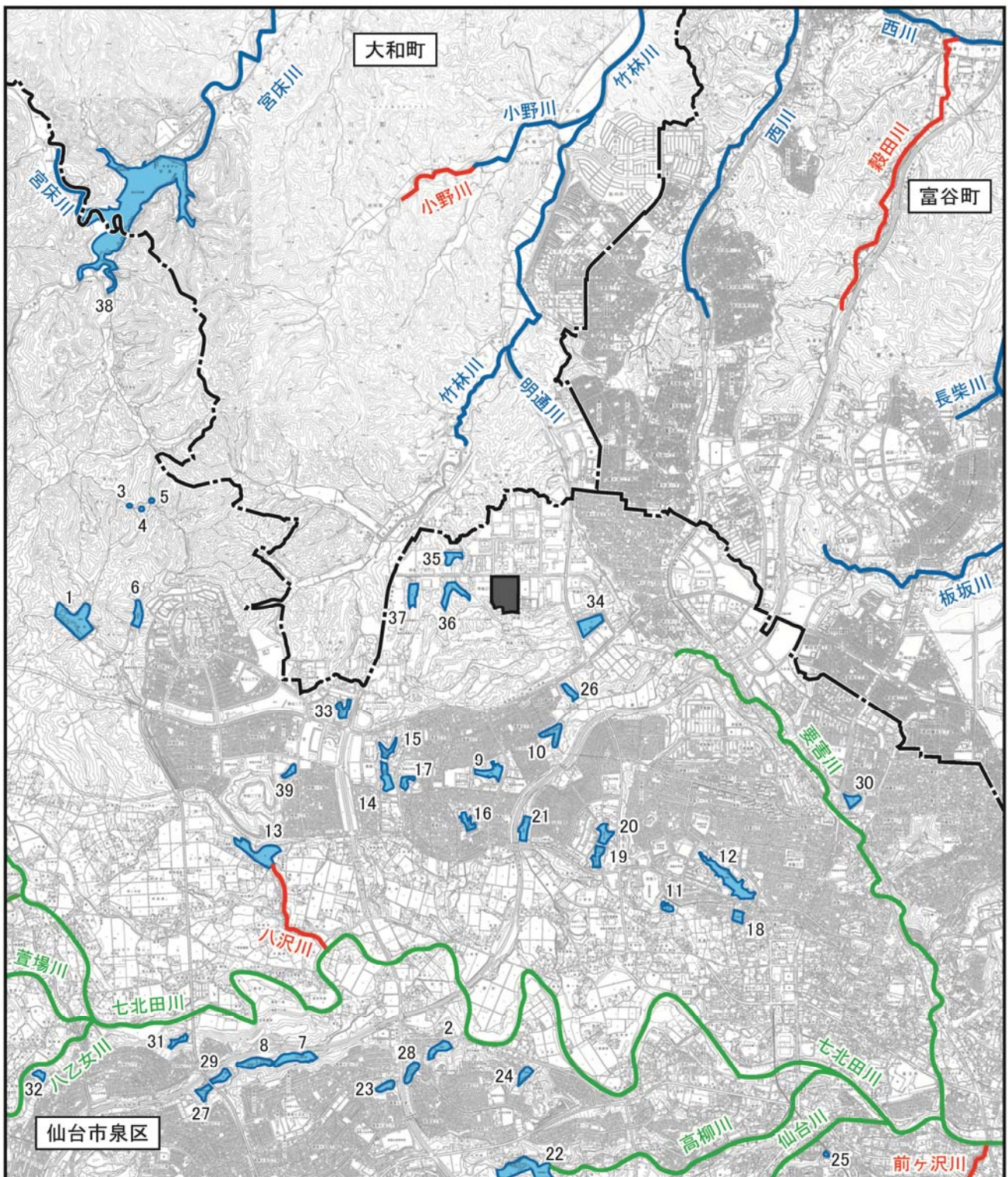
3) 水辺の状況

調査範囲の自然性の高い水辺地としては、計画地南側の七北田川沿いにヤナギ低木群落(Ⅳ)(植生自然度9)やヨシクラス(植生自然度10)等の自然度の高い植生がみられる(表3.3-4及び図3.3-1参照)。

4) 水源地の状況

調査範囲の主な水源地としては、計画地の北西側4.5kmに計画地周辺の上水道の取水源の1つである宮床ダムが存在する(表3.1-2及び図3.1-1参照)。

また、竹林川、宮床川、七北田川等の河川においては、農業用水を取水するための堰、揚水機が設置されている(表3.1-4及び図3.1-2参照)。



凡 例

- | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|--------|
|  | 計画地 |  | 1級河川 |  | 湖沼・ため池 |
|  | 市町界 |  | 2級河川 | | |
| | |  | 準用河川 | | |

※図中の番号は、表3.1-2に対応する。
 出典：「宮城県河川・海岸図」（平成25年3月 宮城県土木部河川課）
 「平成21年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成22年3月 仙台市）

図3.1-1 水象の状況

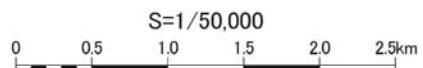
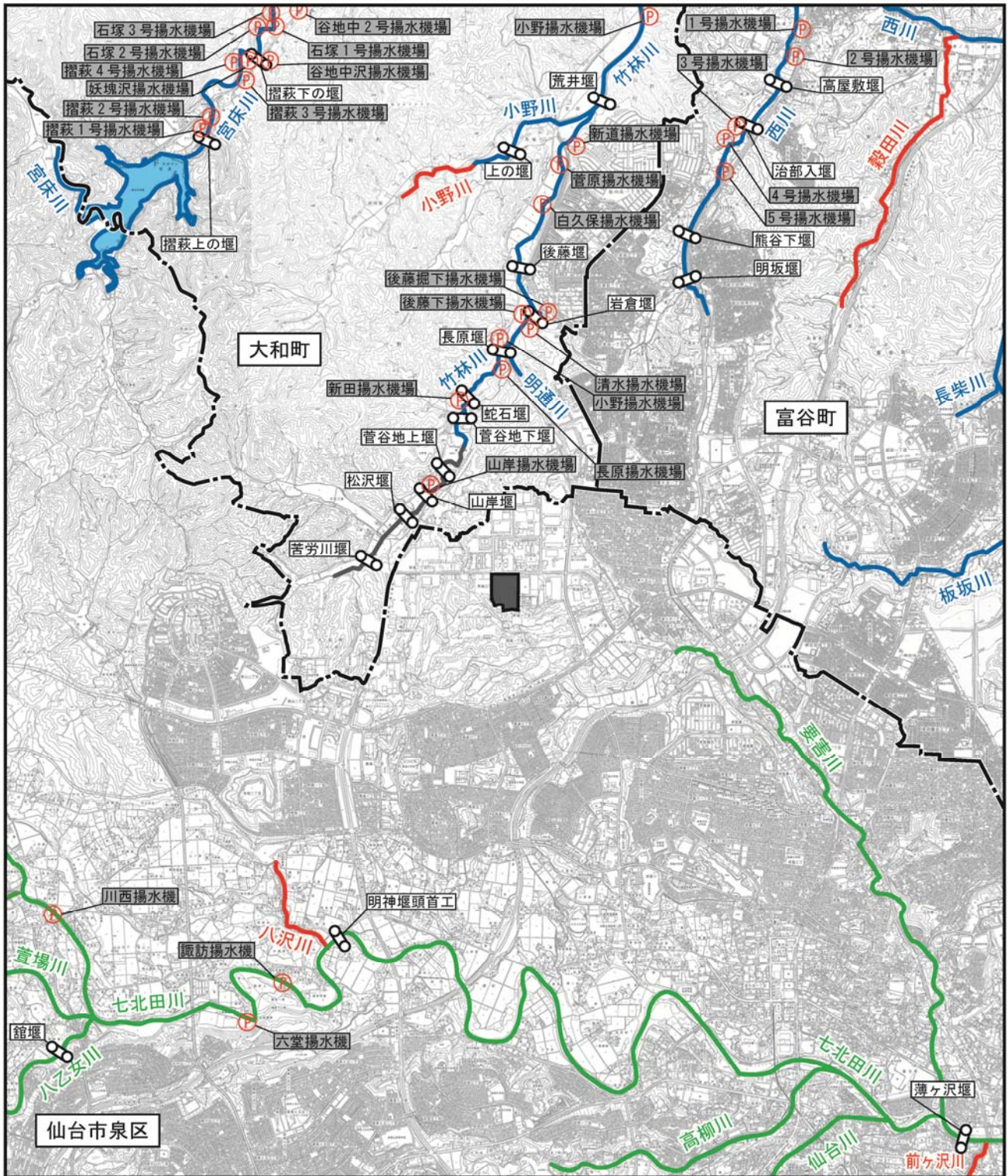


表3.1-4 農業用水取水施設の概要

河川名	施設名	所在地	取水量(m ³ /秒)		施設所有者	施設管理者
			最大	常時		
竹林川	小野揚水機場	黒川郡大和町小野地内	0.0200	0.0080	—	—
竹林川	荒井堰	黒川郡大和町小野	0.0500	0.0500	熊谷水利組合	富谷町
竹林川	新道揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0100	0.0067	熊谷水利組合	富谷町
竹林川	菅原揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0015	0.0010	—	—
竹林川	白久保揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0080	0.0080	鳥屋水利組合	鳥屋水利組合
竹林川	後藤堰	黒川郡大和町小路	0.0600	0.0600	幕柳水利組合	幕柳水利組合
竹林川	後藤堰下揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0100	0.0070	太田水利組合	太田水利組合
竹林川	岩倉堰	黒川郡大和町小野	0.0030	0.0030	個人	個人
竹林川	後藤下揚水機場	黒川郡大和町小野後藤	0.0010	0.0007	小鶴沢水利組合	小鶴沢水利組合
竹林川	清水揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0015	0.0010	小鶴沢水利組合	小鶴沢水利組合
竹林川	小野揚水機場	黒川郡大和町小野地内	0.0200	0.0080	—	—
竹林川	長原堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0020	0.0020	相川堰水利組合	相川堰水利組合
竹林川	長原揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0100	0.0100	亀岡堰水利組合	亀岡堰水利組合
竹林川	蛇石堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0010	0.0010	金堰水利組合	金堰水利組合
竹林川	新田揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0050	0.0050	中島揚水機利用組合	中島揚水機利用組合
竹林川	菅谷地下堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0030	0.0030	青木堰水利組合	青木堰水利組合
竹林川	菅谷地上堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0050	0.0050	石崎堰水利組合	石崎堰水利組合
竹林川	山岸揚水機場	黒川郡大和町宮床小野	0.0080	0.0080	神明堰水利組合	神明堰水利組合
竹林川	山岸堰	黒川郡大和町宮床小野字蛇石	0.0030	0.0030	達居堰水利組合	達居堰水利組合
竹林川	松沢堰	黒川郡大和町宮床小野	0.0100	0.0100	—	—
竹林川	苦勞川堰	黒川郡大和町小野	0.0100	0.0100	岩下堰用水組合	岩下堰用水組合
小野川	上の堰	黒川郡大和町小野前河原	0.0340	0.0280	三本堰水利組合	三本堰水利組合
西川	1号揚水機場	黒川郡富谷町一枚沖	0.0080	0.0080	八志田堰組合	八志田堰組合
西川	2号揚水機場	黒川郡富谷町一枚沖	0.0090	0.0090	沢渡水利組合	沢渡水利組合
西川	高屋敷堰	黒川郡富谷町富谷字一枚沖	0.0110	0.0110	—	—
西川	治部入堰	黒川郡富谷町富谷字高屋敷	0.0150	0.0150	鳴瀬土地改良区	鳴瀬土地改良区
西川	3号揚水機場	黒川郡富谷町源内	0.0040	0.0040	鳴瀬土地改良区	鳴瀬土地改良区
西川	4号揚水機場	黒川郡富谷町源内	0.0020	0.0020	—	—
西川	5号揚水機場	黒川郡富谷町源内	0.0013	0.0013	鶴田川沿岸土地改良区	鶴田川沿岸土地改良区
西川	熊谷下堰	黒川郡富谷町富谷字熊谷下	0.0100	0.0050	鶴田川沿岸土地改良区	鶴田川沿岸土地改良区
西川	明坂堰	黒川郡富谷町富谷字明坂	0.0100	0.0050	鶴田川沿岸土地改良区	鶴田川沿岸土地改良区
宮床川	谷地中2号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0060	0.0060	石倉水利組合	石倉水利組合
宮床川	石塚3号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0060	0.0060	—	—
宮床川	石塚2号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0060	0.0060	一二三堰水利組合	富谷町
宮床川	石塚1号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0050	0.0050	個人	個人
宮床川	谷地中沢揚水機場	黒川郡大和町	0.0060	0.0060	個人	個人
宮床川	摺萩下の堰	黒川郡大和町宮床摺萩	0.0100	0.0090	個人	個人
宮床川	摺萩4号揚水機場	黒川郡大和町	0.0060	0.0060	個人	個人
宮床川	妖塊沢揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0070	0.0070	個人	個人
宮床川	摺萩3号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0050	0.0050	個人	個人
宮床川	摺萩2号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0030	0.0030	個人	個人
宮床川	摺萩1号揚水機場	黒川郡大和町宮床	0.0060	0.0060	個人	個人
宮床川	摺萩上の堰	黒川郡大和町宮床摺萩	0.0100	0.0100	個人	個人
七北田川	薄ヶ沢堰	仙台市泉区	2.0480	1.4800	個人	個人
七北田川	明神堰頭首工	仙台市泉区野村字八木沢	0.1000	0.0800	個人	個人
七北田川	諏訪揚水機場	仙台市泉区実沢字六堂	0.0180	0.0160	個人	個人
七北田川	六堂揚水機	仙台市泉区実沢	0.0150	0.0150	個人	個人
七北田川	川西揚水機	仙台市泉区実沢字小角	0.1900	0.1900	—	—
八乙女川	館堰	仙台市泉区実沢萩屋敷	0.0120	0.0120	—	—

出典:「農業用水施設台帳(河川取水施設)改訂五版」(平成20年3月 宮城県農林水産部農村振興課)

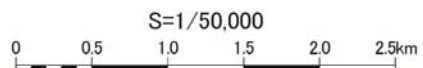


凡例

- | | | | | | |
|---|-----|---|-------|---|----------|
|  | 計画地 |  | 1級河川 |  | 堰 |
|  | 市町界 |  | 2級河川 |  | 揚水機・揚水機場 |
| | |  | 準用河川 | | |
| | |  | その他河川 | | |

出典:「河川取水施設図」(平成20年3月 宮城県)

図3.1-2 農業用水取水位置



3.2 地形・地質

(1) 地形・地質

1) 地形・地質の状況

調査範囲の地形の状況は、図3.2-1に示すとおりである。

調査範囲の地形は、西から東に流れる七北田川を始めとした河川沿いに発達した低位から高位の河岸段丘や、その周囲に分布する丘陵地からなっており、計画地は七北田川の北側に分布する松島丘陵に位置している。

なお、計画地は既に造成された工業・流通団地の一角に位置し、平坦な更地となっている。

調査範囲の地質の状況は、図3.2-2に示すとおりである。

計画地周辺の地質は、酸性軽石凝灰岩（火山礫凝灰岩・凝灰角礫岩及び凝灰質シルト岩を伴う）である。当該地質は計画地の北側に広く分布しており、一部、礫・砂及び泥からなる段丘堆積物が入り込んでいる。一方、計画地の南側には細粒-粗粒砂岩（シルト岩・細粒凝灰岩及び礫岩を伴う）が広く分布している。

2) 注目すべき地形・地質

以下に示す選定根拠によると、調査範囲において注目すべき地形・地質はない。

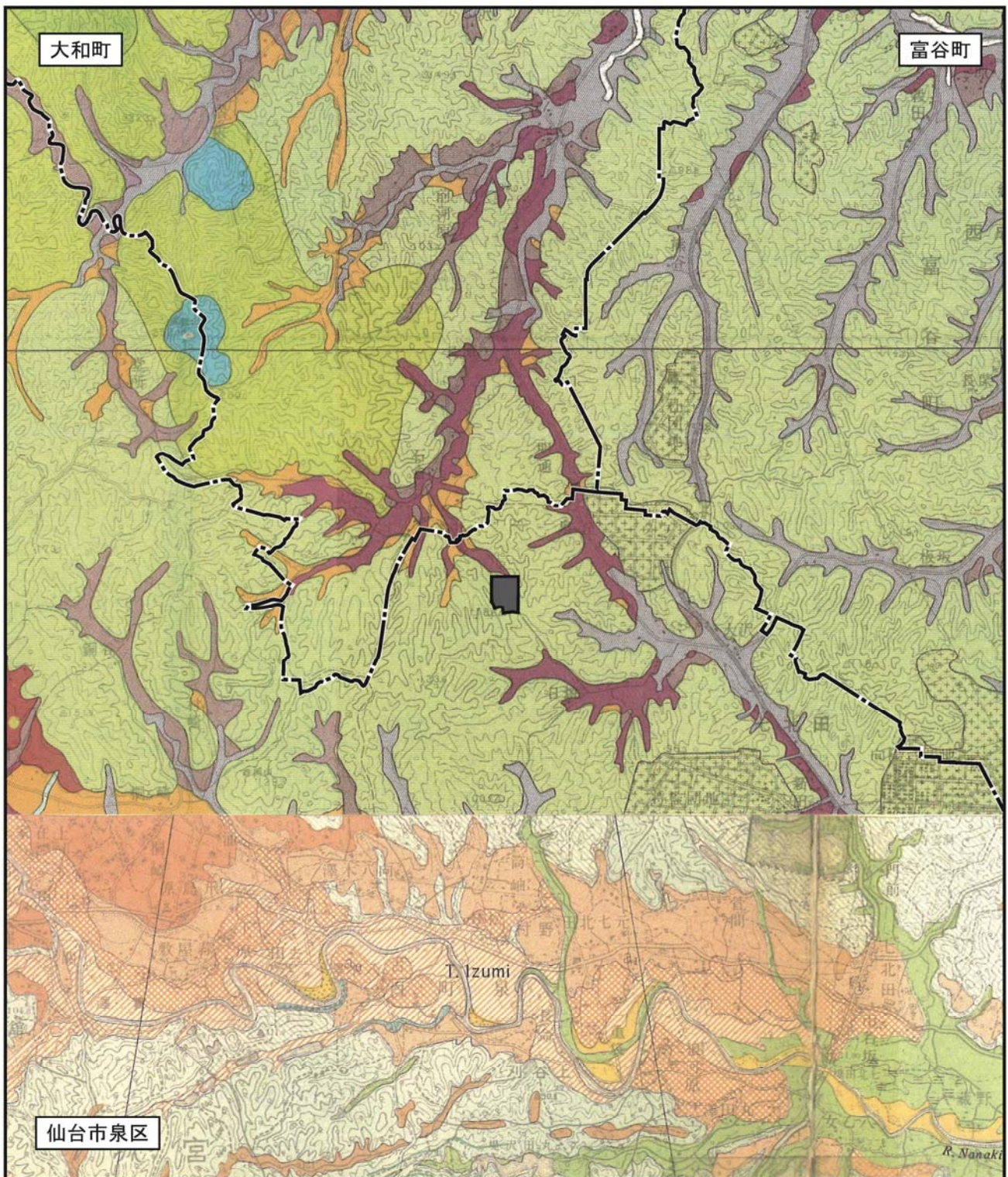
※選定根拠

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）
- ②「日本の典型地形 都道府県別一覧」（平成11年 国土地理院）

3) 災害履歴

調査範囲において発生した主な災害は、平成15年の宮城県北部地震、平成23年の平成23年東北地方太平洋沖地震などがある。平成23年東北地方太平洋沖地震では、この調査範囲に浸水被害はなく、宅地被害の影響も少なかった。

- ・昭和53年6月12日 宮城県沖地震(最大震度5)
- ・昭和61年8月4～5日 昭和61年8月洪水(広瀬川流域で浸水被害)
- ・平成15年5月26日 宮城県沖地震(三陸南地震)(最大震度6弱)
- ・平成15年7月26日 宮城県北部地震(最大震度6強)
- ・平成20年6月14日 平成20年岩手・宮城内陸地震(最大震度6強)
- ・平成23年3月11日 平成23年東北地方太平洋沖地震(最大震度7)



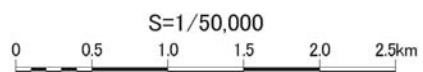
凡 例

- 計画地
- 市町界

※凡例は次ページ以降に示す。

出典:「土地分類基本調査図 地形・地質・土じょう 仙台」
 (昭和42年3月 経済企画庁)
 「土地分類基本調査図 地形分類図(都道府県土地分類基本調査) 吉岡」
 (昭和55年3月 宮城県)

図3.2-1(1) 地形分類図





凡例（仙台）



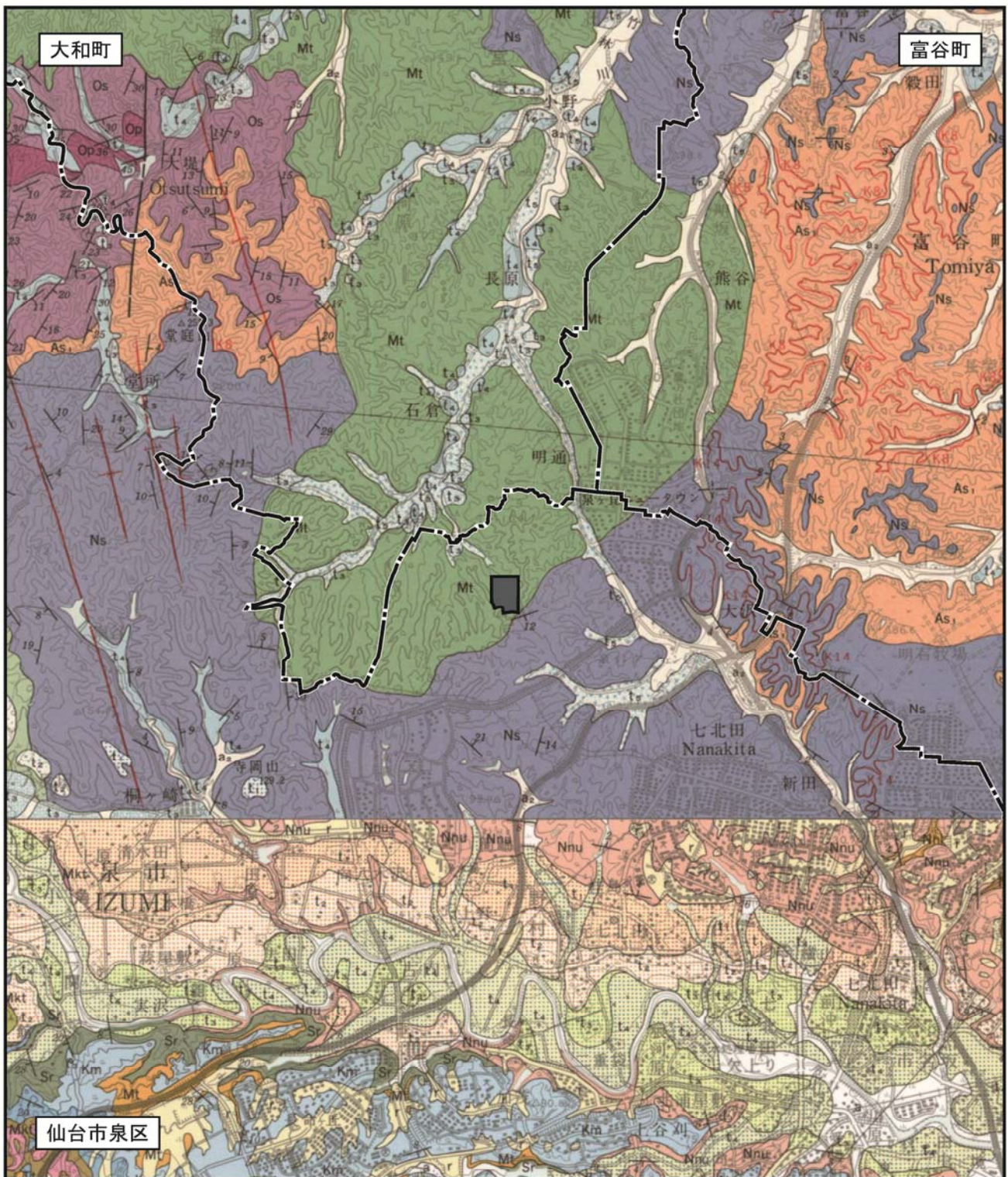
凡例（吉岡）

丘陵地 HILL LANDS	
	丘頂緩斜面および丘腹緩斜面 Gentle slope on hill ridge and side
	丘麓緩斜面 Piedmont gentle slope
	急斜面（谷密度80以上） Steep slope greater than valley density 80/Km ²
	急斜面（谷密度80未満） Steep slope less than valley density 80/Km ²
台地 UPLANDS	
砂礫台地	
	GtI（上位） Upper
	GtII*（中位） Higher middle
	GtII（中位） Middle
	GtIII*（下位） Higher lower
	GtIII（下位） Lower
岩石台地 Rocky uplands	
	RtI（上位） Upper
	RtII（中位） Middle
	RtIII（下位） Lower
低地 LOWLANDS	
	谷底平野 Valley plain
	自然堤防及び砂堆・浜堤 Natural levee, sandy mound and beach ridge
	海岸平野 Coastal plain
	河原および浜 Dry river-bed and beach
	砂丘 Sand dune
その他 MISCELLANEOUS	
	湿地 Wet land
	泥炭地 Peat land
	地入り地形 Landforms due to landslide
	崖 Cliff
	遷移点 Knick point
	傾斜変換線 Varied point of slope
	地形界 Boundary of landform unit
	人工平坦地界 Boundary of artificially flattened area (昭和40年5月現在) (on May, 1965)

山地及び丘陵地 MOUNTAINS AND HILLS	
	中起伏山地 Mountains of medium relief (300—500m within 1kmx1km)
	小起伏山地 Mountains of low relief (less than 300m within 1kmx1km)
	丘陵地 Hills
	孤立峯 Isolated peak
台地及び段丘 UPLANDS AND TERRACES	
	高位平坦面 Higher flat plane
	高位谷底面 Higher valley floor
	高位段丘上段・細分される所ではその高位面 Highest terrace or higher berm of highest terrace
	高位段丘上段が細分される所でその低位面 Lower berm of highest terrace
	高位段丘下段・細分される所ではその高位面 Higher terrace of higher berm of higher terrace
	高位段丘下段が細分される所でその低位面 Lower berm of higher terrace
	中位段丘 Middle terrace
	低位段丘上段・細分される所ではその高位面 Lower terrace of higher berm of lower terrace
	低位段丘上段が細分される所でその低位面 Lower berm of lower terrace
	低位段丘下段・細分される所ではその高位面 Lowest terrace or higher berm of lowest terrace
	低位段丘下段が細分される所でその低位面 Lower berm of lowest terrace
	河岸緩斜面 Gentle slope behind flood plain
低地 LOWLANDS	
	河岸平野・谷底平地 Alluvial plain and valley floor
	自然堤防 Natural levee
	河原・河川堤内地 High water channel
その他 MISCELLANEOUS	
	人工平坦地 Artificially graded area
	谷中分水界 Divide in valley

出典:「土地分類基本調査図 地形・地質・土じょう 仙台」
(昭和42年3月 経済企画庁)
「土地分類基本調査図 地形分類図(都道府県土地分類基本調査) 吉岡」
(昭和55年3月 宮城県)

図3.2-1(2) 地形分類図 凡例



凡 例

- 計画地
- 市町界

※凡例は次ページ以降に示す。

出典:5万分の1地質図幅「仙台」(昭和61年3月)
 5万分の1地質図幅「吉岡」(昭和58年11月)
 国立開発研究法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

図3.2-2(1) 表層地質図





凡例（仙台）



凡例（吉岡）

r	土砂	
s	土塊・岩塊・粘土	
a	砂及び粘土（部分的に多量火山灰を挟む）	沖積層
i	砂	
b	砂	
d	砂	
ts	礫層・砂層及び粘土層	
tsa	礫層・砂層及び粘土層（一部水野火山灰に覆われる）	
tsb	礫層・砂層及び粘土層	
tsr	礫層・砂層及び粘土層（一部安山火山灰に覆われる）	
tsu	粘土質火山灰及び軽石質細粒火山灰礫層・砂層・及び粘土層（泥炭を挟む）	
tsv	河岸段丘堆積物	
tm	砂岩及び礫岩	大年寺層
dmu	シルト岩・砂岩及び亜炭	
dmv	砂岩・礫岩及びシルト岩	
mat	軽石凝灰岩及び細粒凝灰岩	
mu	砂岩・シルト岩・亜炭・凝灰岩及び砂岩	
tl	シルト岩・砂質シルト岩・凝灰岩及び砂岩	
km	砂岩・凝灰岩・シルト岩・亜炭及び礫岩又は礫混じり砂岩	
an	安山岩	
mt	安山岩質・玄武岩質溶岩・火山角礫岩及び凝灰角礫岩	
sr	軽石凝灰岩・細粒凝灰岩及び凝灰質シルト岩	
ns	異地性ブロックを含む軽石凝灰岩・砂質凝灰岩及び砂岩	
ym	軽石凝灰岩（堅固）	
ymt	軽石凝灰岩（やや軟質）	
nuu	砂岩（凝灰岩薄層を挟む）	
nut	砂岩・軽石凝灰岩及び礫岩	
au	砂岩・シルト岩及び凝灰岩	
bu	軽石質砂岩及び礫岩	
su	凝灰質砂岩及び凝灰質シルト岩（凝灰岩薄層を挟む）	
tu	軽石凝灰岩・火山礫凝灰岩・砂岩・礫岩及び凝灰角礫岩	
hu	砂岩及びシルト岩（凝灰岩薄層を挟む）	
mu	礫岩・礫混じり砂岩及び砂岩	
tu	火山角礫岩・凝灰角礫岩及び軽石凝灰岩	
tau	安山岩要岩及び玄武岩溶岩	
tu	流紋岩溶岩	
tu	砂岩・礫岩・火山礫凝灰岩及びシルト岩	
tut	軽石凝灰岩及び細粒凝灰岩	
tu	デイサイト質角礫岩及び凝灰質砂岩	
tu	火山門礫岩・凝灰岩及び凝灰質砂岩	
tu	軽石凝灰岩	
tu	火山角礫岩及び凝灰角礫岩	
tu	頁岩・砂質頁岩及び砂岩	

※ 断面図のみに表示
Shows only in cross section

mu	礫・砂及び泥（泥炭を伴う）	段丘堆積物
mu	礫及び砂	
tu	礫・砂及び泥（火山灰を伴う）	
tu	礫・砂及び泥（火山灰を伴う）	
tu	礫及び砂（火山灰を伴う）	
tu	火山岩層	
tu	輝石安山岩岩塊・砂及び火山灰	
tu	輝石安山岩凝灰角礫岩・火山角礫岩など	
tu	酸化角閃石含有輝石デイサイト溶岩	
tu	（かんらん石含有）輝石安山岩溶岩	
tu	輝石安山岩火砕岩（凝灰質砂岩及びシルト岩を伴う）	
tu	（角閃石含有）輝石デイサイト溶岩（安山岩溶岩を伴う）	
tu	軽石凝灰岩（火山礫凝灰岩を伴う）	
tu	礫岩（シルト岩及び砂岩を伴う）	
tu	シルト岩・細粒・中粒砂岩及び軽石凝灰岩（泥岩を伴う）	
tu	軽石凝灰岩・シルト岩と呼び砂岩（礫岩及び亜炭を伴う）	
tu	酸性軽石凝灰岩（火山礫凝灰岩・凝灰角礫岩及び凝灰質シルト岩を伴う）	
tu	中粒・粗粒砂岩・細粒凝灰岩・凝灰角礫岩及び凝灰質（シルト岩及び亜炭を伴う）	
tu	細粒・粗粒砂岩及びシルト岩（細粒凝灰岩・軽石凝灰岩・礫岩及び亜炭を伴う）	
tu	シルト岩及び細粒砂岩（珪藻泥岩を伴う）	
tu	礫岩・細粒・粗粒砂岩及びシルト岩（亜炭及び細粒凝灰岩を伴う）	
tu	シルト岩及び細粒凝灰岩及び軽石凝灰岩	
tu	酸性軽石凝灰岩	
tu	シルト岩・細粒凝灰岩・軽石凝灰岩及び砂岩	
tu	軽石凝灰岩	
tu	細粒・中粒砂岩（シルト岩及び細粒凝灰岩を伴う）	
tu	細粒・粗粒砂岩（シルト岩・細粒凝灰岩及び礫岩を伴う）	
tu	凝灰質砂岩及び軽石凝灰岩	
tu	斜層理のある細粒・中粒砂岩（細粒凝灰岩・軽石凝灰岩及び礫岩を伴う）	
tu	斜層理のある軽石質砂岩	
tu	細粒・粗粒砂岩・礫岩・シルト岩及び酸性・中世凝灰岩	
tu	輝石安山岩火砕岩	
tu	凝灰質中粒砂岩及び凝灰質シルト岩（軽石凝灰岩及び粗粒凝灰岩を伴う）	
tu	輝石安山岩火砕岩（凝灰質砂岩を伴う）	
tu	暗灰色硬質頁岩（細粒砂岩を伴う）	

※ 断面図のみに表示
Shows only in cross section

出典：5万分の1地質図幅「仙台」（昭和61年3月）
5万分の1地質図幅「吉岡」（昭和58年11月）
国立開発研究法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

図3.2.-2(2) 表層地質図 凡例

4) 災害危険箇所

調査範囲における災害の危険箇所は、図3.2-3に示すとおりである。

計画地周辺には、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」、「砂防法」及び「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき指定された地域が分布している。指定された地域は、表3.2-1に示すとおりである。なお、「地すべり等防止法」に基づく「地すべり防止区域」の指定はない。

また、国土交通省の調査・点検要領に基づき、土砂災害の危険性のある箇所を宮城県が抽出した「土砂災害危険箇所（土石流危険溪流、土石流危険区域、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所）」も周辺に分布している。

なお、計画地は上記の法令の指定や危険箇所等には該当していない。

表3.2-1 防災に係る法令に関する指定地等

種別	番号	名称	所在地	法令
急傾斜地崩壊危険区域	1	丸山	仙台市泉区上谷刈丸山	①
砂防指定地	2	丸田沢	仙台市泉区上谷刈字立脇, 上谷刈字山添	②
土砂災害警戒区域	3	泉ヶ丘の1	仙台市泉区七北田字大沢	③
	4	泉ヶ丘の2	仙台市泉区七北田字大沢明通	
	5	丸山	仙台市泉区上谷刈字丸山, 加茂1丁目	
	6	前沢	大和町小野字前沢	

出典: 「せんだいぐらしのマップ」(仙台市ホームページ)

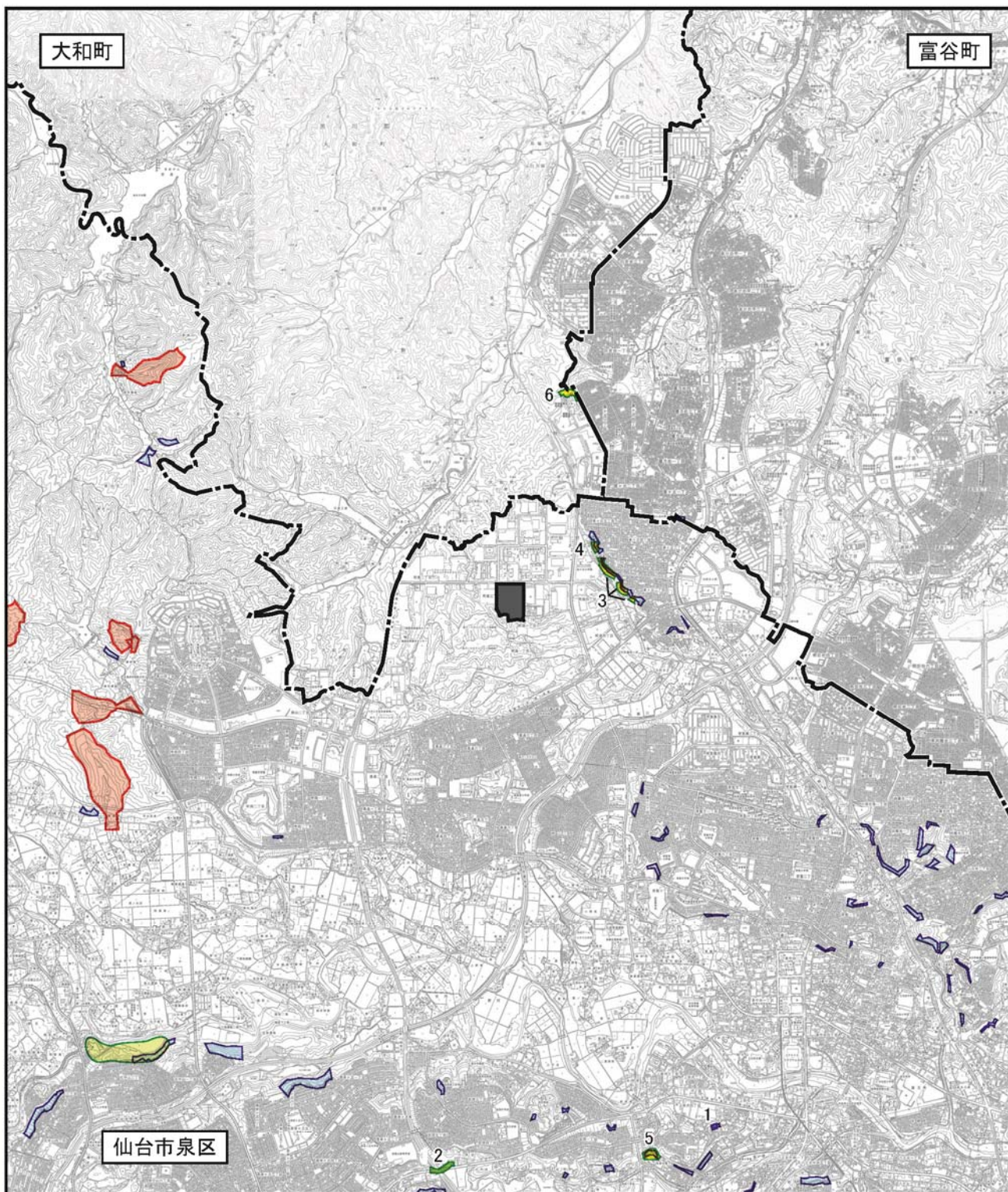
「土砂災害警戒区域等指定箇所」(宮城県ホームページ)

法令: ①急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律

②砂防法

③土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

注) 表中の番号は、図3.2-3の番号に対応する。

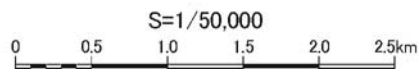


凡 例

- | | |
|--|--|
|  計画地 |  土石流危険渓流及び土石流危険区域 |
|  市町界 |  地すべり危険箇所 |
|  急傾斜地崩壊危険区域 |  急傾斜地崩壊危険箇所 |
|  砂防指定地 | |
|  土砂災害警戒区域 | |

※図中の番号は、表3.2-1に対応する。
 出典：せんだいぐらしのマップ(仙台市ホームページ) <http://www2.wagmap.jp/sendacity/top>
 土砂災害警戒区域等指定箇所(宮城県ホームページ) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sabomizusi/kasho.html>

図3.2-3 防災関連等指定区域



3.3 植物

(1) 植物相

「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）によれば、仙台市の丘陵地帯は暖温帯と冷温帯の間に位置する中間温帯と呼ばれる領域でモミーイヌブナ林の発達がみられ、しかもその領域が広い面積を占めることが特徴である。この領域では暖地系の植物、寒地系の植物の両方がみられる等、植物相は非常に多様である。

「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）によれば、宮床地区の環境を特徴づける植物種として、ミゾソバ、セリ等の湿地の種、ブナ等の山地の種、コナラ、カタクリ等の丘陵地の種が生育している。

「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）によれば、南部の山林地帯にはクリ、ナラ等を始め、カエデ、ホオノキ、モミ、ヤマウルシ等の樹木が比較的多く繁茂し、またこの間にスギ、ヒノキ、マツ等が植林されている。

(2) 注目すべき植物種

調査範囲における注目すべき植物種は、表3.3-3(1)～(4)に示すとおりであり、49科104種である。

なお、注目すべき植物種は、「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）において、「保全上重要な植物種」として選定されている種に加え、国や宮城県のレッドデータ等に該当する種とした（表3.3-1～2参照）。

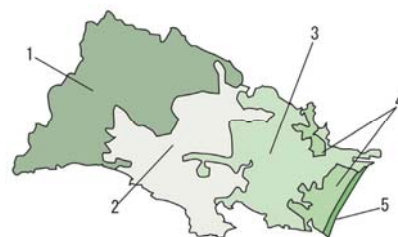
表3.3-1 注目すべき種の選定基準

選定理由		番号・記号	説明	
仙台市における保全上重要な種の区分	学術上重要種	1	仙台市において、もともと稀産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種。	
		2	仙台市周辺地域が分布の北限、南限となっている種。あるいは隔離分布となっている種。	
		3	仙台市が模式産地（タイプロカリティー）となっている種	
		4	その他、学術上重要な種	
	注目種	減少種	EX	絶滅。過去に仙台市に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、仙台市では既に絶滅したと考えられる種。
			EW	野生絶滅。過去に仙台市に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられる種。
			A	現在ほとんど見ることができない。
			B	減少が著しい。
			C	減少している。
			*	普通に見られる。
			/	生息・生育しない可能性が非常に大きい。
		環境指標種	○	本市の各環境分類において良好な環境を指標する種。（ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標）
		ふれあい保全種	○	市民に親しまれている（よく知られている）種のうち、保全上重要な種。（身近にある種の保全に対して啓蒙をはかるための種。）
レッドデータ等	国 RL（「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種）	EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CR	絶滅危惧ⅠA類	
		EN	絶滅危惧ⅠB類	
		VU	絶滅危惧Ⅱ類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
		LP	絶滅のおそれのある地域個体群	
	宮城 RL（「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版（震災前アーカイブ）」（平成25年3月 宮城県）掲載種）	EX	絶滅	
		EW	野生絶滅	
		CR+EN	絶滅危惧Ⅰ類	
		VU	絶滅危惧Ⅱ類	
		NT	準絶滅危惧	
		DD	情報不足	
		要	要注目種	
	天記・種保存法（「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）掲載種）	特天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における特別天然記念物	
		天	『文化財保護法』（昭和25年法律第214号）における天然記念物	
		国内	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国内希少野生動植物	
		国際	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）』（平成4年法律第75号）における国際希少野生動植物	

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）

表3.3-2 注目すべき種(減少種)の地域区分

番号	地域区分
1	山地地域
2	西部丘陵地・田園地域
3	市街地地域
4	東部田園地域
5	海浜地域（後背の樹林帯も含む）



出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務報告書」（平成23年3月 仙台市）

「杜の都環境プラン 仙台市環境基本計画 2011-2020」（平成23年3月 仙台市）

注）調査範囲は、「1 山地地域」「2 西部丘陵地・田園地域」「3 市街地地域」に該当する。

表3.3-3(1) 注目すべき植物種(1/4)

No.	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分							国 R L	県 R L	天記・種保存法	分布地
			①	②	③	学術上重要な種	注目種					ふれあい保全種				
							減少種									
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜					
1	ミズニラ	ミズニラ	○			1		B	A				NT	NT	根白石	
2	トクサ	イヌスギナ		○				B	B						大和町宮床地区	
3	コケシノブ	ヒメハイホラゴケ	○			1									朴沢小山	
4	オンダ	リョウメンシダ		○				B			○	○			大和町宮床地区	
5		イワシロイノデ	○					B							根白石	
6		サカゲイノデ	○					B							北中山	
7	マツ	モミ	○	○	○	2		C			○	○			長命館公園, 将監沼風致公園, 大和町宮床地区	
8	イチイ	カヤ			○	2		B				○				
9	カバノキ	サワシバ	○	○				C	B		○				朴沢, 大和町宮床地区	
10		アカシダ	○	○				C	B		/	○	○		長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区	
11		イヌシダ	○	○		4		C	B		C	○			長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区	
12	ブナ	ブナ		○	○	4		C	B			○			大和町宮床地区	
13		イヌブナ		○		1, 4		B				○	○		大和町宮床地区	
14		ミズナラ	○					C	B			○			朴沢	
15		シラカシ	○			2		C	C	C		○	○		長命館公園	
16	ニレ	エノキ				4		B	B	B		○	○		寺岡	
17		ケヤキ		○				C	C	B	B		○	○	大和町宮床地区	
18	タデ	ナガバノウナギツカミ			○								NT	VU		
19		イヌタデ	○	○	○							○			将監沼風致公園, 大和町宮床地区	
20		サデクサ			○									NT		
21		ミゾソバ		○	○			C	B	C		○	○		大和町宮床地区	
22	ナデシコ	カワラナデシコ	○					C			C	○			朴沢	

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国 R L：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県 R L：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「植物目録 1987」（昭和63年3月 環境庁）に準拠した。

表3.3-3(2) 注目すべき植物種(2/4)

No.	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地
			①	②	③	学術上重要な種	注目種					ふれあい保全種							
							減少種												
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜		環境指標種						
23	クスノキ	オオバクロモジ	○	○													将監沼風致公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
24		シロダモ	○			2	*	*	*		○	○				長命館公園			
25	キンボウゲ	ニリンソウ			○			B		B			○	○					
26		イチリンソウ			○										CR+EN				
27		リュウキンカ	○										○				白石銅谷, 朴沢銅所		
28		オキナグサ			○	1		A						VU	CR+EN				
29		バイカモ	○			1		B									朴沢上の原		
30	ドクダミ	ハンゲショウ			○										VU				
31	ボタン	ヤマシャクヤク	○		○	1	B	B							NT	CR+EN	朴沢		
32	ツバキ	ヤブツバキ		○				B	B	B	B		○	○			大和町宮床地区		
33	モウセンゴケ	イシモチソウ			○										NT				
34		モウセンゴケ	○					C					C				寺岡		
35	ケシ	キケマン			○											VU			
36		ヤマブキノソ			○	1		B											
37	アブラナ	ナズナ	○	○	○			B	B	B			○	○			北中山, 天神沢, 大和町宮床地区		
38	ベンケイソウ	キリンソウ	○										○				上刈谷丸太沢		
39	ユキノシタ	トリアシショウマ	○	○			C	B		B			○				長命館公園, 大和町宮床地区		
40		コチャルメルソウ	○										○				朴沢銅門		
41	バラ	ザイフリボク	○			1		B									将監沼風致公園		
42		ヤマブキ	○					C					○				朴沢		
43		カスミザクラ		○				C					○				大和町宮床地区		
44	マメ	タヌキマメ			○	1, 2	EX	EX	EX	EX	EX				CR+EN				
45		ツクシハギ	○					B					○	○			将監沼風致公園, 朴沢		
46	トウダイグサ	ノウルシ			○										NT	要			
47	カエデ	ハウチワカエデ	○	○				C					○				将監沼風致公園, 大和町宮床地区		
48		イタヤカエデ	○	○				C									長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
49		メグスリノキ	○	○		1		B					○				長命館公園, 大和町宮床地区		
50		ヤマモミジ	○					B					○	○			朴沢		
51		ウリハダカエデ	○	○				C					○				長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
52	トチノキ	トチノキ	○					C	C								朴沢		
53	モチノキ	イヌツゲ	○	○				C					C				長命館公園, 将監沼風致公園, 大和町宮床地区		
54	スミレ	タチスミレ			○										VU	EX			
55		ナガハシスミレ	○	○		1		B		B							長命館公園, 将監沼風致公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
56	ヒシ	ヒシ	○					B		B			○	○			朴沢, 根白石		
57	ミズキ	アオキ	○	○				C	C	C	C		○	○			長命館公園, 大和町宮床地区		
58	ウコギ	コシアブラ	○					C	C								長命館公園		
59	イチヤクソウ	ウメガサソウ	○							C			C	○			朴沢		
60	ツツジ	ヤマツツジ	○	○				C	C				C	○			長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区		

※1: 表中の文献は以下のとおりである。

- ① 「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)(報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ② 「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町)(報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ③ 「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)

※2: 国RL: 「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料)掲載種

県RL: 「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県)掲載種

天記: 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)

種保存法: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)

※3: 種名等は、「植物目録 1987」(昭和63年3月 環境庁)に準拠した。

表3.3-3(3) 注目すべき植物種(3/4)

No.	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分							国RL	県RL	天記・種保存法	分布地
			①	②	③	学術上重要種	注目種					ふれあい保全種				
							減少種									
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜					
61	ツツジ	トウゴクミツバツツジ	○			2		B								長命館公園
62		ナツハゼ	○					C				○				長命館公園,根白石
63	サクラソウ	サクラソウ	○			1		A				○	NT	CR+EN		朴沢
64	モクセイ	イボタノキ	○					B				○				根白石,長命館公園,朴沢
65	リンドウ	コケリンドウ				○								CR+EN		
66		ホソバツルリンドウ	○			1		C					VU	VU		夷沢
67	キョウチクトウ	チョウジソウ				○							NT	CR+EN		
68	ガガイモ	スズサイコ	○			1		A					NT	VU		朴沢
69	シソ	ツルカコソウ				○							VU	CR+EN		
70		タツナミソウ				○									要	
71	ゴマノハグサ	スズメノトウガラシ				○								NT		
72		サギゴケ		○				C		C		○				大和町宮床地区
73		ゴマノハグサ				○							VU	VU		
74		イヌノフグリ				○	1		B				VU	VU		
75		カワヂシャ				○	1		B	B			NT	NT		
76	オオバコ	オオバコ	○	○	○							○				長命館公園,朴沢,大和町宮床地区
77	キク	オクモミジハグマ	○	○				C				○				将監風致公園,大和町宮床地区
78		オケラ	○		○			B				○	○			長命館公園,将監沼風致公園
79		アズマギク				○	1	B				○	○	VU		
80		アキノキリンソウ	○	○	○			C				○				将監風致公園,大和町宮床地区
81		エゾタンポポ		○				C	B	B	C	○	○			大和町宮床地区
82		オナモミ				○								VU	VU	
83	ユリ	カタクリ	○	○	○			B	B	B		○				長命館公園,大和町宮床地区
84		ヒメヤブラン	○	○				C			*	○	○			根白石,大和町宮床地区
85		オオバジャノヒゲ	○	○				B			C	○				長命館公園,大和町宮床地区
86		ナルコユリ				○								DD		
87		ユキザサ	○					C				○				長命館公園
88		アマナ				○								VU		
89	アヤメ	ノハナショウブ	○			1		C				○	○			朴沢
90		ヒメシャガ	○					B	B			○	○	NT	NT	長命館公園
91	イネ	ヤマアワ	○					B			B					根白石
92		メヒシバ	○	○								○				将監風致公園,大和町宮床地区
93		カゼクサ		○					B	C		○				大和町宮床地区
94		オオウシノケグサ	○			4		B		B	C	○	○			古内
95		エゾノサヤカグサ		○						C						大和町宮床地区
96		アイアシ	○			1					C	○		NT		七北田川
97		ヨシ	○	○				C	C	C	C	○	○			将監沼風致公園,大和町宮床地区
98		シバ	○					B	B	B		○	○			長命館公園,朴沢
99	サトイモ	ミズバショウ	○					B				○	○			丸田沢

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)(報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町)(報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ③「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料)掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県)掲載種

天記：「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)

※3：種名等は、「植物目録 1987」(昭和63年3月 環境庁)に準拠した。

表3.3-3(4) 注目すべき植物種(4/4)

No.	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分											国RL	県RL	天記・種保存法	分布地
			①	②	③	学術上重要な種	注目種													
							減少種					環境指標種	ふれあい保全種							
							山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜									
100	ミクリ	ナガエミクリ	○			1		A		A						NT	NT	根白石		
101	カヤツリグサ	カンガレイ	○					B		B								丸田沢		
102	ラン	ジュンラン			○			C		C		○								
103		クモキリソウ	○			1, 4		B			B							朴沢		
104		ネジバナ	○	○	○			B		B		○	○					長命館公園, 朴沢, 大和町宮床地区		
	49科	104種	66種	37種	37種	30種	11種	73種	18種	28種	19種	48種	44種	18種	29種	0種				

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」(平成15年3月 大和町) (報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種)
- ③「富谷町誌」(昭和40年 富谷町)

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」(平成24・25年 環境省報道発表資料) 掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県) 掲載種

天記：「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)

※3：種名等は、「植物目録 1987」(昭和63年3月 環境庁)に準拠した。

(3) 植生及び保全上重要な植物の生育地の状況

1) 植生の状況

調査範囲における植生の状況は図3.3-1(1)～(3)に、植生自然度の区分基準は表3.3-4に示すとおりである。

調査範囲の北側には丘陵地が広がり、クリーコナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林、伐採跡地群落、アカマツ群落(V)等が広くみられる。南側には市街地が大半を占め、七北田川周辺には水田雑草群落が広がっている。

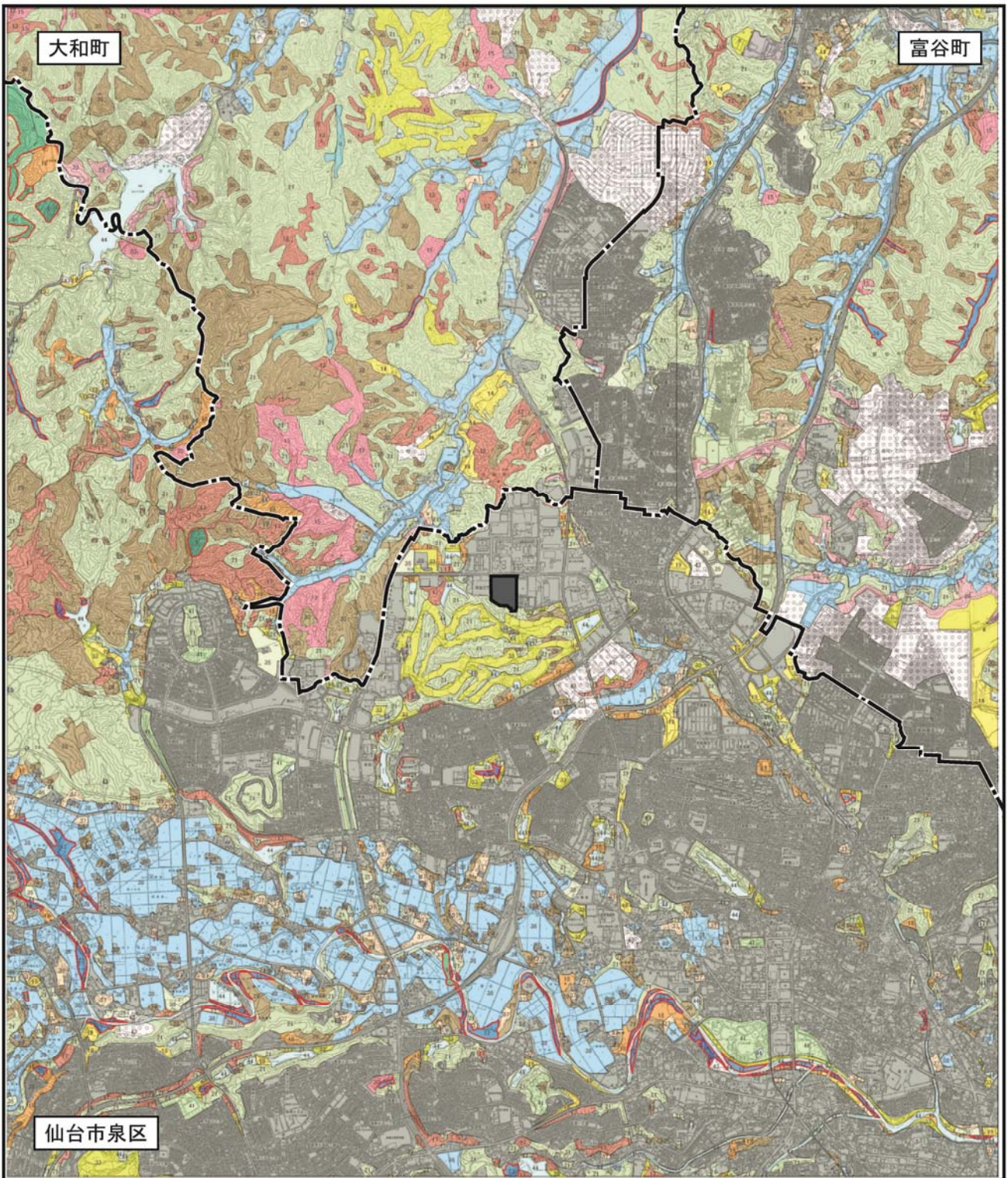
自然植生(植生自然度9、10)の分布状況をみると、植生自然度10のヨシクラスは七北田川等の河川沿いや沢沿いに、ヒルムシロクラスは調査範囲内に点在する溜池等にみられる。また、植生自然度9のモミーヌブナ群集、イヌシデーアカシデ群落、ケヤキ群落(IV)、ヤマハンノキ群落は宮床ダム周辺の山地帯に、ヤナギ高木群落(IV)、ヤナギ低木群落(IV)は七北田川等の河川沿いに、ハンノキ群落(IV)は紫山地区及び高森地区の溜池沿いにみられる。

計画地の植生については、大部分が工業地帯(植生自然度1)であり、敷地南側にクリーコナラ群集(植生自然度7)が分布する。計画地周辺は、北側に市街地(植生自然度1)、南側にクリーコナラ群集(植生自然度7)やゴルフ場・芝地(植生自然度2)が分布している。

表3.3-4 植生自然度区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツトドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群落、クヌギーコナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑園、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「自然環境保全基礎調査 植生調査」 (http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html)



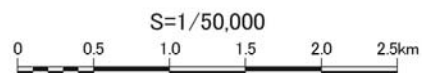
凡 例

- 計画地
- 植生自然度9, 10
- 市町界

※凡例は次ページ以降に示す。

出典:「平成21年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託(平成22年3月 仙台市)」「自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供 1/25000植生図(根白石)(富谷町)平成14年度調査」(<http://www.vegetation.biodic.go.jp/>)
「自然環境保全基礎調査 植生調査」(http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html)

図3.3-1(1) 現存植生図





凡例（根白石）



凡例（富谷町）

凡例色, 凡例番号, 凡例名 (植生自然度 (表 3.1.4-4 参照))

- 2, モミーイヌブナ群集, (9)
- 4, イヌシデーアカシデ群落, (9)
- 13, アカマツ群落 (V), (7)
- 14, ススキ群団 (V), (5)
- 15, 伐採跡地群落 (V), (4)
- 21, クリーコナラ群集, (7)
- 23, クズ群落, (4)
- 24, ヨシクラス, (10)
- 30, スギ・ヒノキ・サワラ植林, (6)
- 33, ニセアカシア群落, (7)
- h, ゴルフ場・芝地, (2)
- f, 路傍・空地雑草群落, (4)
- a, 畑雑草群落, (2)
- b, 水田雑草群落, (2)
- d, 放棄水田雑草群落, (4)
- k, 市街地, (1)
- i, 緑の多い住宅地, (2)
- l, 工場地帯, (1)
- m, 造成地, (1)
- w, 開放水域, (-)

凡例色, 凡例番号, 凡例名 (植生自然度 (表 3.1.4-4 参照))

- 9, ヤナギ低木群落 (IV), (9)
- 13, アカマツ群落 (V), (7)
- 14, ススキ群団 (V), (5)
- 15, 伐採跡地群落 (V), (4)
- 21, クリーコナラ群集, (7)
- 23, クズ群落, (4)
- 24, ヨシクラス, (10)
- 30, スギ・ヒノキ・サワラ植林, (6)
- h, ゴルフ場・芝地, (2)
- g, 牧草地, (2)
- f, 路傍・空地雑草群落, (4)
- e, 果樹園, (3)
- a, 畑雑草群落, (2)
- b, 水田雑草群落, (2)
- d, 放棄水田雑草群落, (4)
- k, 市街地, (1)
- i, 緑の多い住宅地, (2)
- l, 工場地帯, (1)
- m, 造成地, (1)
- w, 開放水域, (-)

出典: 「自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供 1/25000植生図(根白石) (富谷町) 平成14年度調査」(<http://www.vegetation.biodic.go.jp/>)
「自然環境保全基礎調査 植生調査」(http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html)

図3.3-1(2) 現存植生図 凡例(根白石)(富谷町)



凡例（仙台市）

凡例色，凡例番号，凡例名（植生自然度（表 3.1.4-4 参照））

- 5.モミイヌブナ群集,(9)
- 9.ケヤキ群落(IV),(9)
- 10.ハンノキ群落(IV),(9)
- 11.ヤナギ高木群落(IV),(9)
- 12.ヤナギ低木群落(IV),(9)
- 16.ヤマハンノキ群落,(9)
- 17.アカマツ群落(V),(7)
- 18.落葉広葉低木群落,(7)
- 19.ススキ群団(V),(5)
- 20.伐採跡地群落(V),(4)
- 21.クリーコナラ群集,(7)
- 22.アズマネザサ群落,(5)
- 23.ヨシクラス,(10)
- 25.ヒルムシロクラス,(10)
- 29.スギ・ヒノキ・サワラ植林,(6)
- 32.竹林,(7)
- 33.ゴルフ場・芝地,(2)
- 35.路傍・空地雑草群落,(4)
- 36.果樹園,(3)
- 37.畑雑草群落,(2)
- 38.水田雑草群落,(2)
- 39.市街地,(1)
- 40.緑の多い住宅地,(2)
- 41.残存・植栽樹群をもった公園、墓地等,(2)
- 43.造成地,(1)
- 44.開放水域,($-$)
- 45.自然裸地,($-$)

出典：「平成21年度仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託（平成22年3月 仙台市）」
「自然環境保全基礎調査 植生調査」(http://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html)

図3.3-1(3) 現存植生図 凡例(仙台市)

2) 保全上重要な植物の生育地

「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）における保全上重要な動植物種の生息地・生育地選定のための基準は、表3.3-5に示すとおりであり、調査範囲において植物生育地として重要な地域は、表3.3-6及び図3.3-2に示すとおりである。

宮城県レッドリストにおける植物群落のカテゴリー区分は、表3.3-7に示すとおりであり、調査範囲において宮城県レッドリストに該当する植物群落は、表3.3-8及び図3.3-2に示すとおりである。

計画地は、植物生育地として重要な地域に含まれていない。

表3.3-5 保全上重要な動植物種の生息地・生育地選定のための基準

区分	判断理由	
保全上重要な地域	1	・保全上重要な動植物種が高密度で分布する地域
	2	・多様な生物相が保存されている地域
	3	・自然性の高い植生、その他学術上重要な植生が保存されている地域
	4	・湿地、湧水、岸壁地、地滑り等の動植物の生息・生育地として特異な環境を有する地域
	5	・自然とのふれあいの場としてふさわしい地域
	6	・環境教育の場としてふさわしい地域
	7	・郷土の特色が保存されている地域（里地・里山・居久根等）
	8	・緑の回廊としてあるいは動物の移動のネットワークとして重要な地域（山地から市街地への連続した緑地、市街地や田園地域に点在する緑地等）
	9	・海岸や水辺、植生帯境界等のエコトーンとして重要な地域

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）

表3.3-6 植物生育地として重要な地域

No.	件名	備考	判断理由
1	根白石（朴沢・実沢・福岡）地域の里地・里山植生	里地・里山植生が良好な状態で残されている。	7, 8
2	洞雲寺のコナラ林	樹高 18m、胸高直径 63cm のコナラを主体とする森林。下層にはモミの若木が生長している。コナラの胸高直径がこれほどの森林は県内には見られず貴重である。	5, 6, 7
3	七北田川下流域の河畔植生	河畔植生として保護が必要。	8, 9
4	丸田沢緑地（水の森公園）	丸田沢緑地環境保全地域。市街地に残された池沼を含む緑地・公園である。植物生育地、環境学習のフィールドとして重要である。	5, 6, 7
5	台原森林公園・真美沢公園の里地・里山植生	市街地に残された、まとまりのある里地・里山植生として重要。	7, 8

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）

注）表中の No. は図3.3-2の英数字に対応する。判断理由は表3.3-5に対応する。

表3.3-7 宮城県レッドリストにおける植物群落のカテゴリー区分

カテゴリー	区分	基本概念
D	壊滅	—
4	壊滅状態	群落は全体的に壊滅状態にあり、緊急に対策を講じなければ壊滅する。
3	壊滅危惧	群落は対策を講じなければ徐々に悪化して壊滅する。
2	破壊危惧	群落は当面保護されているが、将来破壊されるおそれがある。
1	要注意	群落は、現在保護・管理状態が良く、当面破壊されるおそれがない。しかし、監視は必要である。

出典：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月 宮城県)

表3.3-8 宮城県レッドリストに該当する植物群落

単一群落

No.	植生帯	群系名	群落名	調査群落名	カテゴリー
A	丘陵地帯	二次樹林	コナラ群落	洞雲寺のコナラ群落	3
B	山地帯	冷温帯樹林	ハンノキ群落	砂生田沢のミズバショウ群落	1

群落複合





No.	区分	調査群落名	カテゴリー
C	中間温帯森林植生	(仮称) 丸田沢の植物群落	3

出典：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月 宮城県)

注) 表中のNo. は図3.3-2の英数字に対応する。カテゴリーは表3.3-7に対応する。

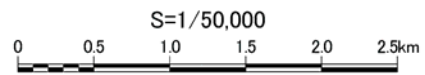


凡 例

-  計画地
-  市町界
-  植物生育地として重要な地域
-  宮城県レッドリストに該当する植物群落

※図中の英数字は、表3.3-6及び表3.3-8のNo.に対応する。
 出典:「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」
 (平成23年3月 仙台市)
 「宮城県の希少な野生動植物 宮城県レッドリスト2013年版
 (震災前アーカイブ)」(平成25年3月 宮城県)

図3.3-2 植物生育地として重要な地域
 及び宮城県レッドリストに該当する植物群落



(4) 保存樹木、保存樹林、保存緑地

調査範囲における「杜の都の環境をつくる条例」（平成18年6月23日 仙台市条例第47号）に基づく「保存樹木」の指定状況は、表3.3-9及び図3.3-3に示すとおりである。

なお、調査範囲には、同条例に基づく「保存樹林」及び「保存緑地」の指定はない。

また、大和町及び富谷町では、「保存樹木」、「保存樹林」、「保存緑地」に関する指定はないものの、「大和町の名木古木」（平成14年1月 大和町の名木古木を守る会）及び富谷町へのヒアリングによると、地域の名木・古木として、表3.3-9に示すサクラ等が挙げられている。

表3.3-9 保存樹木等一覧

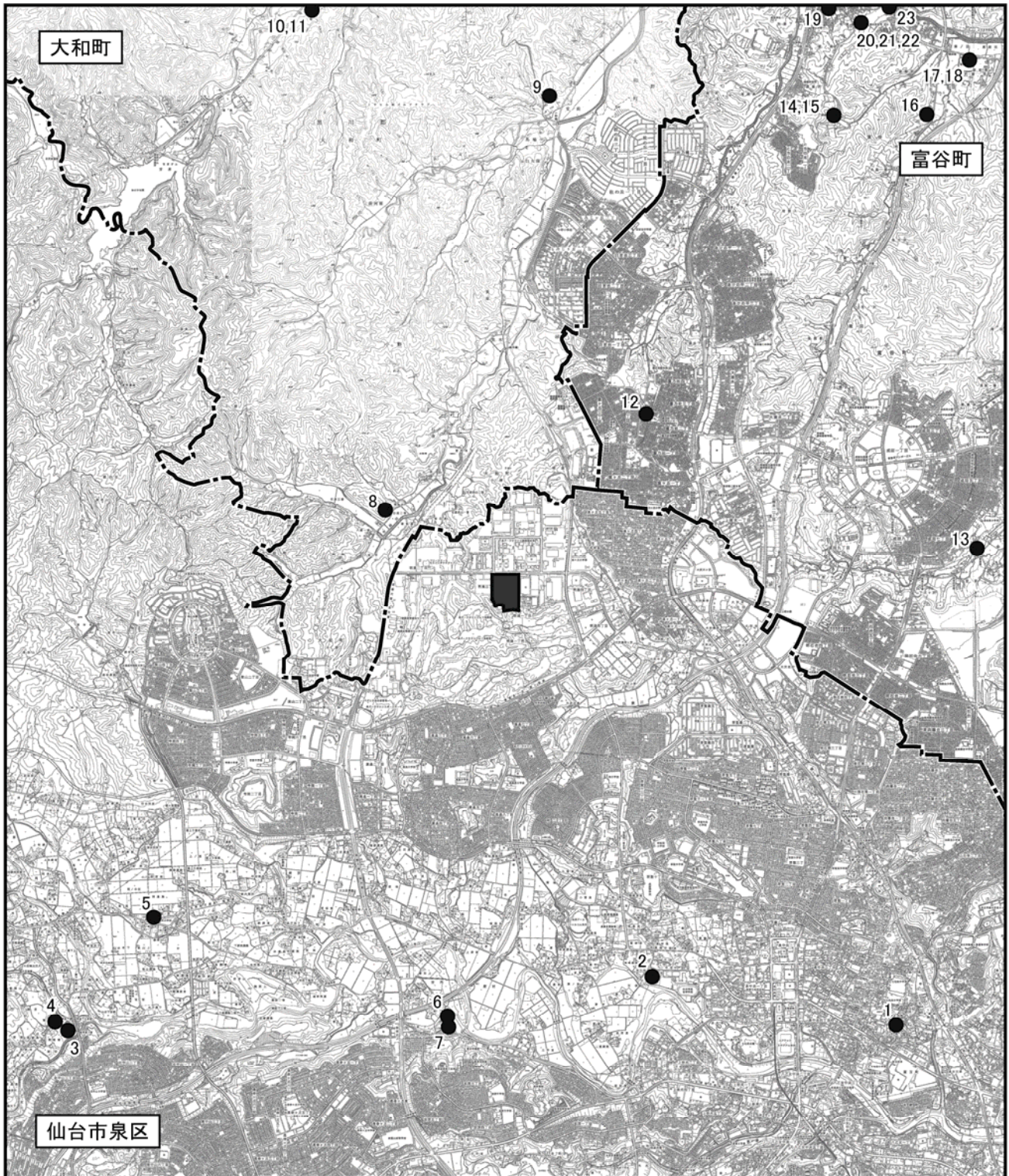
図No.	名称	所有者（所在）	樹種
1	七北田小学校の赤松	七北田小学校（仙台市泉区七北田字東裏90）	アカマツ
2	七北田のけやき	個人（仙台市泉区野村字本七北田2）	ケヤキ
3	実沢のいちょう	個人（仙台市泉区実沢字道祖神2）	イチョウ
4	実沢のかや	個人（仙台市泉区実沢字道祖神2）	カヤ
5	実沢の赤松	個人（仙台市泉区実沢字中谷地前26-7）	アカマツ
6	賀茂神社のいろはもみじ	賀茂神社（仙台市泉区古内字糺1）	イロハモミジ
7	賀茂神社のあらかし	賀茂神社（仙台市泉区古内字糺1）	アラカシ
8	新谷家のしだれざくら	個人（大和町小野字山岸12）	サクラ
9	お假屋のさくら	個人（大和町小野字堂ノ前）	サクラ
10	覚照寺の血汐もみじ	覚照寺（大和町宮床字大櫛69）	カエデ
11	覚照寺の菩提樹	覚照寺（大和町宮床字大櫛69）	ボダイジュ
12	かめ杉	鷹乃杜（富谷町鷹乃杜二丁目）	スギ
13	種まき桜	明石神社（富谷町明石宮前）	サクラ
14	ゴヨウマツ	湯船寺（富谷町富谷根崎沢）	ゴヨウマツ
15	サルスベリ	湯船寺（富谷町富谷根崎沢）	サルスベリ
16	サイカチ	個人（富谷町穀田岩下）	サイカチ
17	メタセコイア	富谷中学校（富谷町穀田字土間沢一番9番地）	メタセコイア
18	三葉のマツ	富谷中学校（富谷町穀田字土間沢一番9番地）	マツ
19	ケヤキ	個人（富谷町富谷町南裏）	ケヤキ
20	しだれ桜	富ヶ岡公園（富谷町富谷清水沢）	サクラ
21	山桜	富ヶ岡公園（富谷町富谷清水沢）	サクラ
22	山紅葉	富ヶ岡公園（富谷町富谷清水沢）	ヤマモミジ
23	サクラ	富谷町（富谷町富谷清水沢）	サクラ

出典：「杜の都の名木・古木」（平成21年3月 仙台市建設局）

「大和町の名木古木」（平成14年1月 大和町の名木古木を守る会）

富谷町へのヒアリング

注）表中の図No.は図3.3-3の番号に対応する。

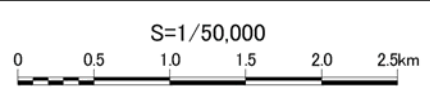


凡 例

- 計画地
- 市町界
- 保存樹木等

※図中の番号は、表3.3-9に対応する。
 出典：「杜の都の名木・古木」(平成21年3月 仙台市建設局)
 「大和町の名木古木」(平成14年1月 大和町名木古木を守る会)
 「富谷町資料」

図3.3-3 保存樹木等



3.4 動物

(1) 動物相

「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）によれば、仙台市の山地から丘陵地に広がる森林域には本州最大の哺乳類であるツキノワグマや、特別天然記念物であるカモシカをはじめ、ヤマネ、ニホンザル、キツネ、タヌキ、ムササビ、ニホンリス等の哺乳類が生息している。鳥類ではオオルリ、ゴジュウカラ、キビタキ、アカゲラ等の森林性の鳥類が多く分布し、山地帯を中心にクマタカも生息している。爬虫類ではマムシやジムグリのほか、自然度が高い林床を好むタカチホヘビや比較的珍しいシロマダラ等も生息している。両生類では山地の溪流にハコネサンショウウオが生息し、トウホクサンショウウオは丘陵地の沢等に広く生息している。また、モリアオガエルやカジカガエルも生息している。魚類では山地の溪流でイワナ、ヤマメが生息する。一方、丘陵地の池沼等では近年オオクチバス（ブラックバス）やブルーギル、タイリクバラタナゴといった移入種により、在来の魚類の生息が脅かされている。昆虫類ではオニクワガタ、カミキリムシ類、ミドリシジミ類等の森林性の昆虫類が多数生息し、丘陵地にヒメギフチョウ本州亜種、丘陵地の湿地にオゼイトトンボ等のトンボ類が多く生息している。市街地や田園地域では、人の生活空間の拡大や圃場整備等により動物の生息環境が減少しているが、市街地に残された公園や田園地域にみられる緑地や、河川沿い等でキツネ、イタチ、カワセミ、アオダイショウ、ミヤマクワガタ等の動物が生息している。市街地に残された緑地ではオオタカの繁殖も確認されている。

「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）によれば、宮床地区の環境を特徴づける動物種として、ダイサギ、ニホンアカガエル、コバネイナゴ等の水田の種、ホオジロ、シータテハ等の樹林の種、ツキノワグマ、カモシカ等の山地の種、タヌキ、シジュウカラ等の丘陵地の種、スジエビ、コオニヤンマ、オイカワ等の水域の種が生息している。

「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）によれば、キツネ、タヌキ、ヤマガラ等の丘陵地の種、ツバメ、スズメ等の市街地の種、ドジョウ等の水田の種が生息している。

(2) 注目すべき動物種

注目すべき動物種は「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）において、「保全上重要な動物種」として選定されている種に加え、国や宮城県のレッドデータ等に該当する種とした（表3.3-1及び表3.3-2参照）。

調査範囲における注目すべき動物種は、表3.4-1～6に示すとおりであり、哺乳類で5目8科11種、鳥類で12目20科48種、爬虫類で1目3科3種、両生類で2目2科3種、魚類で5目6科6種、昆虫類で7目17科23種である。

表3.4-1 注目すべき動物種【哺乳類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種						ふれあい保全種							
								減少種													
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種								
1	モグラ	モグラ	モグラ			○		*	C	C	C	C	*		○						
2	ウサギ	ウサギ	ノウサギ		○	○		*	C	B	B	C		○					大和町宮床地区		
3	ネズミ	リス	ニホンリス			○		*	C	B		C		○							
4		ネズミ	ハタネズミ	○				C	C	B	C	C	○	○					朴沢		
5			ヒメネズミ	○				*	C	C	/		○							朴沢	
6	ネコ	クマ	ツキノワグマ	○	○		4	C	C											朴沢, 大和町宮床地区	
7		イヌ	タヌキ	○	○	○		*	C		C		○	○						朴沢, 大和町宮床地区	
8		イタチ	テン		○	○			C	C				○							大和町宮床地区
9			イタチ		○		○		C	C	B	C	C	○	○						朴沢
10		アナグマ		○		○	4	C	C											朴沢	
11	ウシ	ウシ	カモシカ		○		4	*						○			要	特天		大和町宮床地区	
	5目	8科	11種	6種	5種	7種	3種	11種	10種	6種	6種	5種	6種	6種	0種	1種	1種				

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版（震災前アーカイブ）」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(脊椎動物編）」（平成5年12月 環境庁）に準拠した。

表3.4-2(1) 注目すべき動物種【鳥類】(1/2)

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種						ふれあい保全種							
								減少種													
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種								
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	○						C	B	C	C	○	○					朴沢, 丸田沢	
2	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ	○						C	B	C	C	○	○	NT	NT			七北田川	
3			コサギ	○			2			C	B	*	*	○	○					天神沢	
4	タカ	タカ	ミサゴ	○	○		1,4					C	C	○	○	NT				七北田川, 大和町宮床地区	
5			ハチクマ	○			1,4	C	C							NT	NT			朴沢	
6			オオダカ	○			1,4	C	C	B	B	C	○	○	NT	NT	希少				七北田川
7			ハイタカ	○			1,4	C	C	C	C	C			NT	NT					丸田沢, 朴沢
8		サンバ	○				C	C	A	C	C			VU	VU					朴沢	
9	ハヤブサ	チゴハヤブサ	○			1,4				B	B					要				朴沢	
10		チョウゲンボウ	○							C	B	C	B	○						朴沢	

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版（震災前アーカイブ）」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(脊椎動物編）」（平成5年12月 環境庁）に準拠した。

表3.4-3 注目すべき動物種【爬虫類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種								国RL			県RL
								減少種					ふれあい保全種						
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜		環境指標種					
1	トカゲ	トカゲ	トカゲ		○		1	C	C	A				○	○				大和町宮床地区
2		カナヘビ	カナヘビ	○	○			*	*	C	C	C	○	○				上谷刈, 根白石, 大和町宮床地区	
3		ヘビ	アオダイショウ	○				*	*	C	C	C	○	○				上谷刈	
	1目	3科	3種	2種	2種	0種	1種	3種	3種	3種	2種	2種	3種	3種	0種	0種	0種		

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(脊椎動物編)」（平成5年12月 環境庁）に準拠した。

表3.4-4 注目すべき動物種【両生類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種								国RL			県RL
								減少種					ふれあい保全種						
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜		環境指標種					
1	サンショウウオ	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	○			1, 4	*	C	B				○		NT	NT	丸田沢ため池	
2	カエル	アカガエル	タゴガエル		○			*	C	B				○				大和町宮床地区	
3			ニホンアカガエル	○	○			*	*	B	*	C						根白石, 大和町宮床地区	
	2目	2科	3種	2種	2種	0種	1種	3種	3種	3種	1種	1種	2種	0種	1種	1種	0種		

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(脊椎動物編)」（平成5年12月 環境庁）に準拠した。

表3.4-5 注目すべき動物種【魚類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										国RL	県RL	天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種													
								減少種						ふれあい保全種							
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種								
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ	○			1	B	B		A				○	VU	NT		七北田川		
2	ウナギ	ウナギ	ウナギ	○		○	1	A	B	B	B	B	○		EN	NT		七北田川			
3	コイ	コイ	ウグイ	○		○		*	C	B	C	C	○	○					七北田川		
4		ドジョウ	ドジョウ		○	○									DD				大和町宮床地区		
5	サケ	アユ	アユ	○					C	C	C	C	○	○					七北田川		
6	カサゴ	カジカ	カジカ	○		○		C	C	A			○	○	NT				七北田川		
	5目	6科	6種	5種	1種	4種	2種	4種	5種	4種	4種	3種	4種	4種	4種	4種	2種	0種			

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト2013年版（震災前アーカイブ）」（平成25年3月宮城県）掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(脊椎動物編)」（平成5年12月 環境庁）に準拠した。

表3.4-6 注目すべき動物種【昆虫類】

No.	目名	科名	種名	文献			仙台市における保全上重要な種の区分										天記・種保存法	分布地	
				①	②	③	学術上重要な種	注目種											
								減少種						ふれあい保全種	国RL	県RL			
								山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	環境指標種						
1	トンボ	カワトンボ	アオハダトンボ	○					C	A					○	NT		七北田川	
2		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ	○		1,4			C				○					丸田沢	
3		サナエトンボ	ホンサナエ	○					B								VU	将監	
4			ナゴヤサナエ	○		1,2			C						VU	CR+EN	将監沼、七北田川		
5		オニヤンマ	オニヤンマ	○					*	B				○				丸田沢緑地	
6		ヤンマ	ヤブヤンマ	○					B		B						VU	将監、丸田沢緑地、朴沢	
7		トンボ	キトンボ	○		1			A	A								VU	将監
8			ナツアカネ		○				C		C		○	○					大和町宮床地区
9			ノシメトンボ		○					C		C		○	○				大和町宮床地区
10			ヒメアカネ	○		1			B	A								CR+EN	将監
11			リスアカネ	○					B	A									VU
12	カマキリ	カマキリ	オオカマキリ	○				*	C	C			○					朴沢、丸田沢	
13	バッタ	バッタ	トノサマバッタ	○	○			*	C	*			○					朴沢、大和町宮床地区	
14	カメムシ	コオイムシ	コオイムシ	○		1		B	A	A				NT	NT			朴沢	
15	コウチュウ	ハンミョウ	ハンミョウ	○				B	B										朴沢
16		ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	○				C	B	B				NT					朴沢
17			ゲンゴロウ	○		1			B	B			○	VU	NT				朴沢
18		クワガタムシ	ミヤマクワガタ	○	○				C	B			○	○					朴沢、大和町宮床地区
19		タマムシ	ツシマムツボシタマムシ	○		1			C										朴沢
20		ホタル	ゲンジボタル	○		1			C	B	C		○	○				NT	朴沢
21	ハチ	コマユバチ	ウマノオバチ			○								NT					
22	チョウ	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ本土亜種	○		1		C	B										館
23		ジャノメチョウ	ジャノメチョウ			○		C	C	C		○							大和町宮床地区
7目				19種	5種	1種	9種	0種	20種	16種	10種	0種	6種	9種	6種	9種	0種		

※1：表中の文献は以下のとおりである。

- ①「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」（平成23年3月 仙台市）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ②「大和町環境基礎調査業務委託報告書」（平成15年3月 大和町）（報告書に記載されている種のうち、その種の分布地が、調査範囲に含まれている種）
- ③「富谷町誌」（昭和40年 富谷町）

※2：国RL：「環境省第4次レッドリスト」（平成24・25年 環境省報道発表資料）掲載種

県RL：「宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ)」(平成25年3月宮城県)掲載種

天記：「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）

種保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」（平成4年法律第75号）

※3：種名等は、「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(無脊椎動物編Ⅱ)」（平成7年4月 環境庁）に準拠した。

(3) 動物の生息地として重要な地域

「平成22年度 自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)における保全上重要な動植物種の生息地・生育地選定のための基準は、表3.3-5に示したとおりであり、調査範囲において動物生息地として重要な地域は、表3.4-7及び図3.4-1に示すとおりである。

計画地及びその周辺は、既に造成された工業・流通団地であり、計画地内の建物は撤去され、植栽木等がわずかに残されているのみであり、動物生息地として重要な地域に含まれていない。

表3.4-7 動物生息地として重要な地域

No.	件名	対象動物	備考	判断理由
1	泉ヶ岳から根白石への緑の回廊	動物全般	市域北部の動物生息環境、移動路として重要。植物及び動物の生物種の多様性を維持するための地域として保護する必要がある。	2,8
2	七北田川(中流域～河口)	哺乳類、鳥類	川に接する地域の環境変化が著しく、動物の生息環境・移動経路としての重要性がとて大きくくなっている。	2,8
3	丸田沢緑地(水の森公園)	動物全般	市街地に残された池沼を含む緑地・公園である。市街地に残された動物の生息地、環境学習のフィールドとして重要である。	6,7

出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

注) 表中のNo. は図3.4-1の番号に対応する。判断理由は表3.3-5に対応する。



凡 例

- 計画地
- 市町界
- 動物生息地として重要な地域

※図中の番号は、表3.4-7に対応する。
 出典：「平成22年度 仙台市自然環境に関する基礎調査業務委託報告書」(平成23年3月 仙台市)

図3.4-1 動物生息地として重要な地域

